授業科目名・形態	日常生活支援技術演習Ｘ　　演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	工藤　浩美・今井　志保	実務経験の有無	有	開講期	3 年後期
科目ナンバリング	W4-3029c				

【授業の主題】

人生の最終段階における介護の意義と目的、意思決定支援のプロセスを理解し、基本的な介護の知識・技術・態度を習得する。また，看取り期の高齢者およびその家族に対して具体的な支援方法や事例を通じて、どのようにして信頼関係を構築していくか学んでいく。

【到達目標】

1）人生の最終段階における介護の意義・目的を理解することができる。
2）人生の最終段階における高齢者およびその家族との信頼関係の重要性とその構築の手段を理解することができる。
3）看取り期の高齢者の様態と、そのケア内容を理解することができる。
4）死に対しての自己知覚を通して、他者の人生の意味や価値観を理解することができる。
5）ＡＣＰの必要性やプロセスについて理解することができる。

【授業計画・内容】

第１回　人生の最終段階の意義と介護の役割	担当:(工藤浩美・今井志保)
第２回　看取り期の高齢者の様態と人生の最終段階におけるアセスメントの視点	担当:(工藤浩美・今井志保)
第３回　死について考える①（グループワーク）	担当:(工藤浩美・今井志保)
第４回　死について考える②（グループワーク）	担当:(工藤浩美・今井志保)
第５回　人生の最終段階における意思決定支援①	担当:(工藤浩美・今井志保)
第６回　人生の最終段階における意思決定支援②	担当:(工藤浩美・今井志保)
第７回　人生の最終段階における意思決定支援③	担当:(工藤浩美・今井志保)
第８回　人生の最終段階におけるチームケアについて	担当:(工藤浩美・今井志保)
第９回　看取りケアとケアプラン作成①　(事例検討)	担当:(工藤浩美・今井志保)
第 10 回　看取りケアとケアプラン作成②　(事例検討)	担当:(工藤浩美・今井志保)
第 11 回　看取りの法的な問題、延命治療、延命介護について	担当:(工藤浩美・今井志保)
第 12 回　テーマに沿ったグループワーク	担当:(工藤浩美・今井志保)
第 13 回　テーマに沿ったグループワーク	担当:(工藤浩美・今井志保)
第 14 回　グリーフケアの実際	担当:(工藤浩美・今井志保)
第 15 回　臨死期のケアの方法(看取り、エンゼルケア など)	担当:(工藤浩美・今井志保)

【授業実施方法】

基本的に演習形式で行いますので、主体的に取り組んでください。また、数回グループでの課題学習とその成果を発表してもらいますので、グループ学習による協働的学びを求めたいと考えております。

【事前・事後学習】

講義内容を踏まえ，予習および復習を毎回 30 分以上行うこと。

【主な関連する科目】

医学概論、高齢者と健康、生活支援技術論Ⅱ、認知症ケア論Ⅱ、介護の基本Ⅰ・Ⅱ、高齢者福祉論、障害者福祉論、介護実習、ソーシャルワーク実習

【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座 7　生活支援技術Ⅱ　中央法規出版.

【参考文献】

随時紹介する。

【成績評価方法】

筆記試験(50%)、課題レポート(40%)および演習態度(10%)等による総合的評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

特別養護老人ホームでの看取り介護の経験や事例をもとに、多職種連携、看取り期のアセスメントやケア内容、意思決定支援、家族支援など、介護現場で求められる実践的な視点を授業内容に取り入れます。

【学生へのメッセージ】

実務に直結するような内容を取り上げますので、卒業後に介護現場で必要となる知識や判断力、倫理観などを身に付けられるように主体的に取り組んでほしいと思います。